

「夢をかなえるには一つ一つの積み重ねが大事」

自転車・垣田 エール

母校・松山学院高で講演

2024年パリ五輪出場など自転車競技の日本代表として活躍する垣田真穂(21)＝早大4年＝が24日、母校の松山学院高(松山市北久米町)で講演し、生徒約830人に夢を追う大切さを説いた。

福岡県出身の垣田は中学生の時に競技を始め、同校入学後に頭角を現し、国内外の主要大会で数々のタイトルを獲得した。進学した早大では2年時にパリ五輪に出場。その後も活躍を続け、今秋の愛知・名古屋ア



母校の松山学院高で講演する垣田真穂

＝24日、松山市北久米町

ジア大会ではマディソンで2連覇を飾った。垣田は男子部員に食らいついて過ごした高校時代を「『ここで頑張らないと後はない』と言い聞かせ、誰より練習した」と回顧。当時の努力が現在の強さにつながっているとし「夢をかなえるには一つ一つの積み重ねが大事」と力強く語った。

講演後には、室内用トレーニングバイクで生徒と対戦するイベントに参加。圧倒的な脚力を見せつけ会場を沸かせた。同校自転車競技部唯一の女子部員の富田愛琉さん(17)は「憧れの選手。自分も強くなるため、さらに練習に励みたい」と目を輝かせていた。

同校の文化祭の一環で開催した。(山内拓郎)